　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 7/17

創世記16章

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　レポーター：マ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　書記　　　：五

【個人的に思ったテーマ】

　信仰とは？神を信じるとはどういうことなのか

【あらすじ】

族長のアブラムとその妻サライの間には子供が生まれなかったため、サライは自分の女奴隷ハガルをアブラムの側女としてさしだし、ハガルはアブラムの子を身ごもった。ハガルは身ごもるとサライを軽んじた。そのためサライはハガルを虐めた。これに耐えかねたサライはサライのもとから逃げ出したところ、主の御使いに出会った。

【16章を読んだマの感想】

登場人物みんな~~ゴミだな~~人間らしい一面もあるんだな

サライ：いろいろひどい、ハガルいびりすぎだろ

アブラム：えっ、嫁からの責任転嫁。かわいそう。でも仲裁してやれよ・・。

ハガル：身ごもってから調子にのりすぎたんだ・・・

【知識】

・アブラムは族長である。

・代理母は古代中近東での一般的習慣だった。

・野生のロバのような人間：飼いならすことが難しく、敵対的で、独立し、圧迫を受けにくい人間

・カデシュはベエル・シェバの南およそ80キロにある荒れ野の中のオアシス。

・ベレドは、言い伝えによればカデシュの北西19キロのところにある井戸。

・ユダヤ人とイスラームの伝統の間では、イシュマエルを全てのアラブ人の先祖と見ている

【設問】

Q１.どうしてこんなややこしいことに陥ってしまったのか？全体を読んでどう思いましたか？

Q2. アブラムは15章4節で主からの言葉を受けとっていますが、サライの提案を受けたことは破ったことになるとも思いますか？その理由は？

Q3.5節：サライのあなたのせいですというのはどういうことを指しているの？

Q4.10節どこかで同じ表現があったような？

Q5.どうしてハガルがエジプト人であることを強調しているのか？どうして神は異教の国（エジプト）の女であるハガルにも祝福を与えたのだろうか？

SQ.現代の代理母問題、あなたは賛成？反対？

　代理母とは遺伝的につながりの無い受精卵を子宮に入れ、出産すること。＜Wikipedia参照＞

＜具体例＞高田延彦・向井亜紀夫妻の問題

　アメリカで代理母出産に成功。最高裁の結論では子供たちは国籍を得るが、向井亜紀と子供たちの血縁関係は認められないと結論を下す。

【後日談】創世記 21章9節～21節　25章12節~17節